

令和元（2019）年度 栃木県浙江省友好交流員レポート（12月）

栃木県浙江省友好交流員 工藤瑠璃

栃木県浙江省企業交流マッチング会

12月は、栃木県浙江省企業交流マッチング会に参加させていただきました。この会議は栃木県経済同友会が主催しており、浙江省企業連合会、浙江省静岡福井事務局が協力し、催された会議だそうです。

栃木県側、浙江省側の企業が参加しており、浙江省側企業が自己紹介と合作ニーズについて発表されている場面では、各企業が栃木県のこの企業の方と〇〇分野でお話したいなど、浙江省企業側の積極性とスピード感が印象的でした。

また、浙江省側から何名か通訳の方がこの会の進行をサポートされていました。私たちの浙江省担当者の徐さんを含め4、5名の方が、日本語を中国語に翻訳される方、中国語を日本語に翻訳される方に分かれ、お仕事されていました。特に印象的に感じたことは、通訳の方々のお仕事を目の前で見させていただけたことです。幸運にも近くの席の方が中国語を日本語に翻訳される担当だったので、横からその方のお仕事を見ることができました。元から大体の内容についての原稿は用意されている様子でしたが、実際には中国の方が発言される内容が変わることもよくあるようで、その度に手元のメモを使い臨機応変にきれいな日本語に翻訳していく様子は圧巻でした。

その後は浙江省側企業、栃木県側企業の方々と円卓を囲み、夕食会でした。終始和やかな雰囲気です。夕食会を楽しむことができました。栃木県側企業の方々から栃木県経済同友会の今回の中国研修についても、お聞きすることができました。



日本語コーナーの餃子パーティー

中国では、日本語や中国語、英語の集まり（コーナー）、さらには日中英のコーナーなどがあり、定期的な交流会や語学練習会などが行われています。私は日本語コーナーの餃子パーティーに参加しました。餃子の皮の色付けに野菜を使うなど工夫されていて、茹でたての水餃子はとってもおいしかったです。また、皮づくりや包む作業の中で中国人の方とお話ができ、有意義な時間でした。餃子の種や副菜などは、出前を利用していました。

また、人生で初めて麻雀にも挑戦しました。ルールはあまり難しくないですが、その時以来やっていないので、忘れないように、また挑戦したいと思っています。日本では麻雀をやる人はそれほど多い印象はありませんが、中国ではとてもポピュラーな遊びのようで、男性も女性も参加されていました。

日本の麻雀は中国の麻雀とやり方が異なるようなので、日本の麻雀にも挑戦してみたいとも感じました。

大学周辺にも、様々なコーナーがありますので、これからも新たな場所に行きながら、人との出会いや語学力にも役立てていきたいです。



出前ケーキ

栃木県浙江省友好交流員としてのレポートも後半戦に入りましたが、この4か月間で自分を含め、何人かの友人が誕生日を迎えました。

その度に出前のアプリ（饿了么、美团）を利用して、バースデーケーキを楽しみました。こちらでは、手軽に様々なデザインのケーキを注文できるので、日本では頼んだことのないような派手なデザインを選び、とても新鮮に楽しむことができました。



食事

私が気に入っている食べ物を紹介します。

一つ目は、留学生宿舎から一番近い東北門を出て左に50メートルほど進むと、ある「特色小籠包」というお店のワンタンスープです。価格は5元(約85円)です。ワンタンスープは学校内でも大体の食堂で食べることのできるメニューです。個人的な好みもあるとは思いますが、現時点で一番好きなワンタンスープはこのお店のものです。授業の合間に行けるぐらい近くにあるので、週に何度か食べています。また、店員さんも皆さん気さくに話しかけてくださったり、豆乳をサービスしてくださったりと、雰囲気も良いと思います。



二つ目は、大学内の第四食堂(こちらも留学生宿舎から近いです)の朝食メニューにあるトマトと卵の炒め物が乗った麺です。価格は4元(約70円)。こちらはお好みで汁なしか汁ありか選択することができます。からだが温まる上に味もおいしいので、早起きできた日の朝によく食べています。今後もこちらの食事で手軽においしく食べることのできるものがあれば紹介していきたいと思います。

